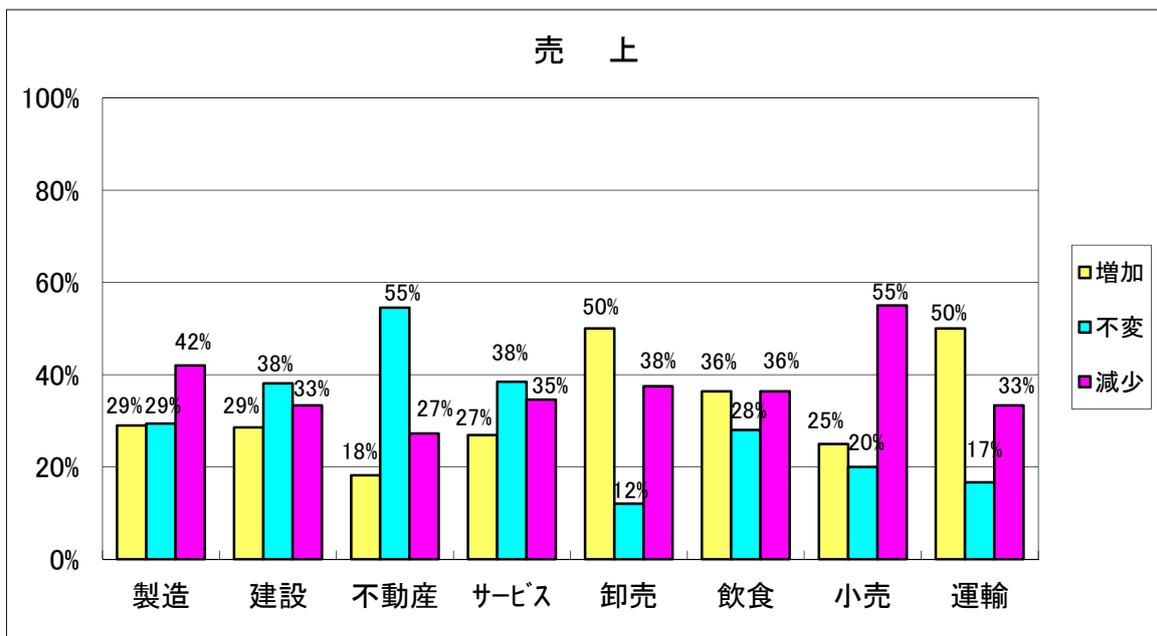


調査1 平成27年1月～6月の水準が、昨年同時期と比べてどのような推移をしているかを①売上 ②採算 ③仕入単価 ④従業員 ⑤業界の景気動向 ⑥資金繰り ⑦金融機関の融資状況の7項目について調査した。各項目について、業種別で集計したところ次のとおりとなった。なお、⑤業界の景気動向については過去の調査結果と平成27年下期の見通しについて比較表示してある。

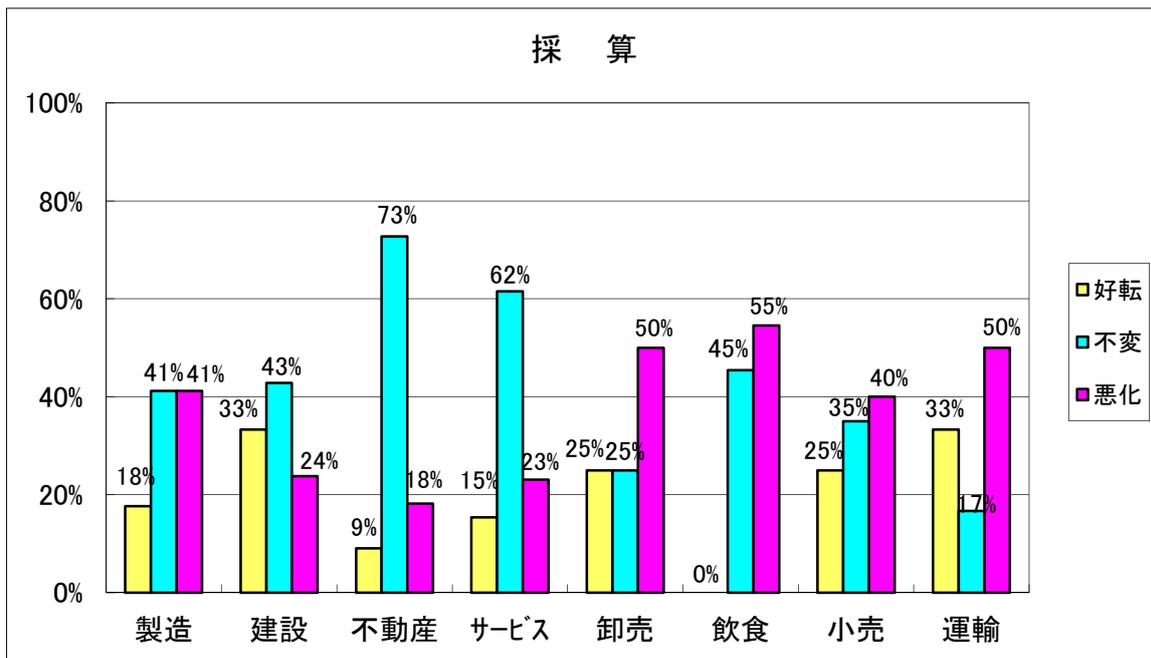
①売上について

全体的でみると昨年より増加が30%、不変が32%、減少は38%と依然として低迷している。その中で、売上増加が顕著なのが運輸業、卸売業でともに50%、一方、減少が大きいのが小売業(55%)、製造業(42%)であった。



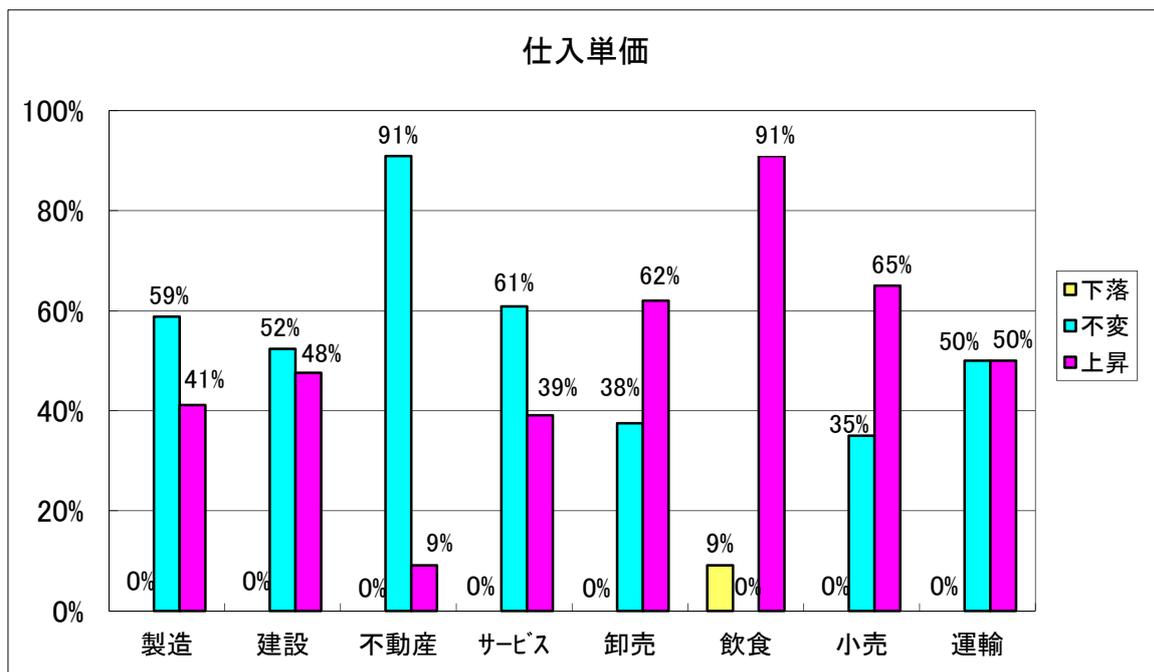
②採算について

全体でみると、「好転」16% (前回22%)、「不変」48% (前回43%)、「悪化」36% (前回35%)であり、前回調査と比べると悪化している。特に「悪化」しているのは卸売業(57%)で厳しい状況である。唯一、運輸業が悪化しておらず好転している。



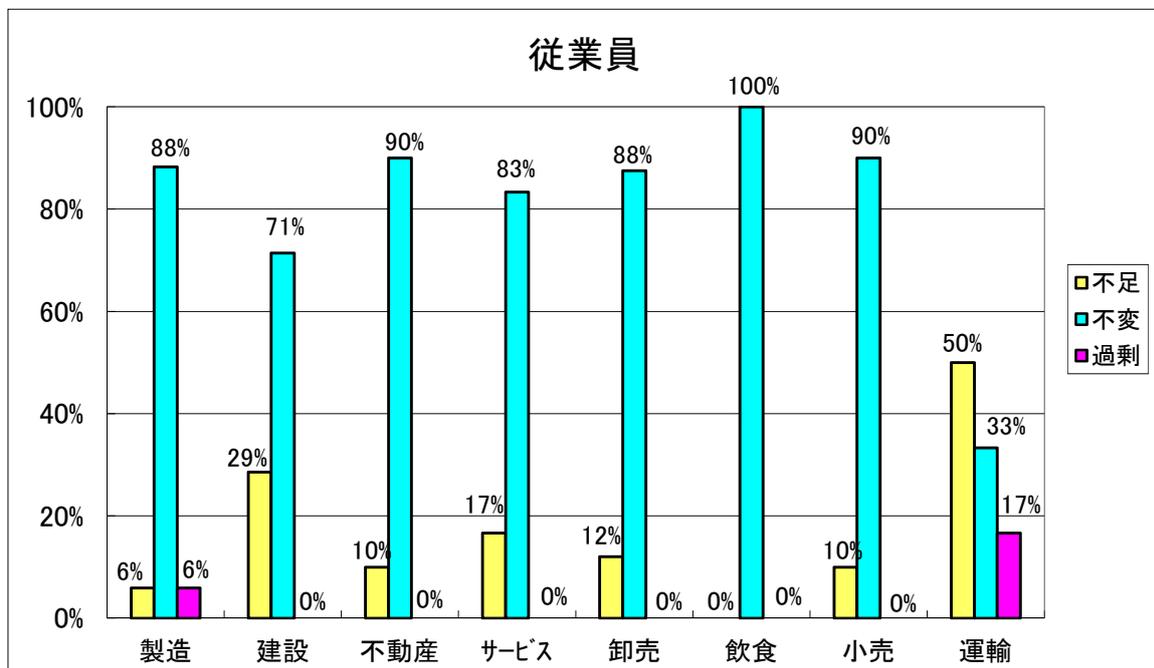
③仕入単価について

仕入単価が「上昇」したと回答が多かったのが飲食業(91%)、小売業(65%)、卸売業(62%)であった。

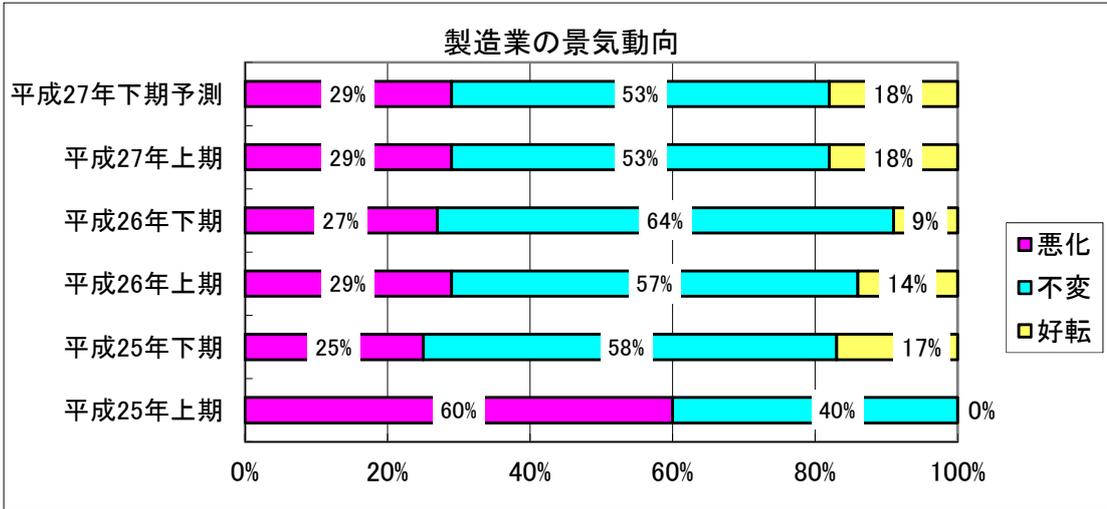


④従業員について

全体で見ると「不変」の回答が多いなか、「不足」が顕著なのが運輸業50%、建設業29%で人出不足が深刻な状況である。

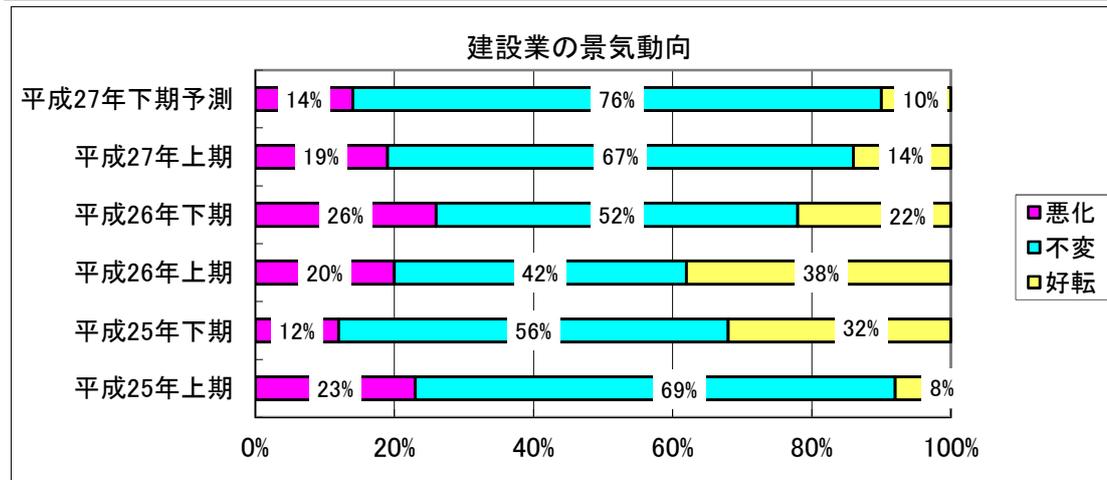


⑤業界の景気動向について



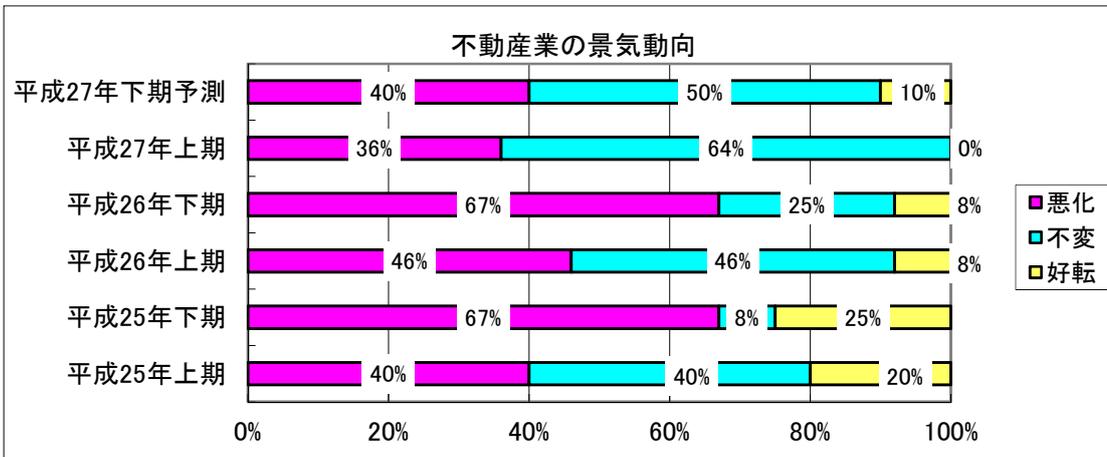
■製造業

平成27年上期では、「好転」が18%と前回より増加しているものの、「悪化」も29%と前回より2%増加した。平成27年下期の見通しも大きな変化は感じられない。



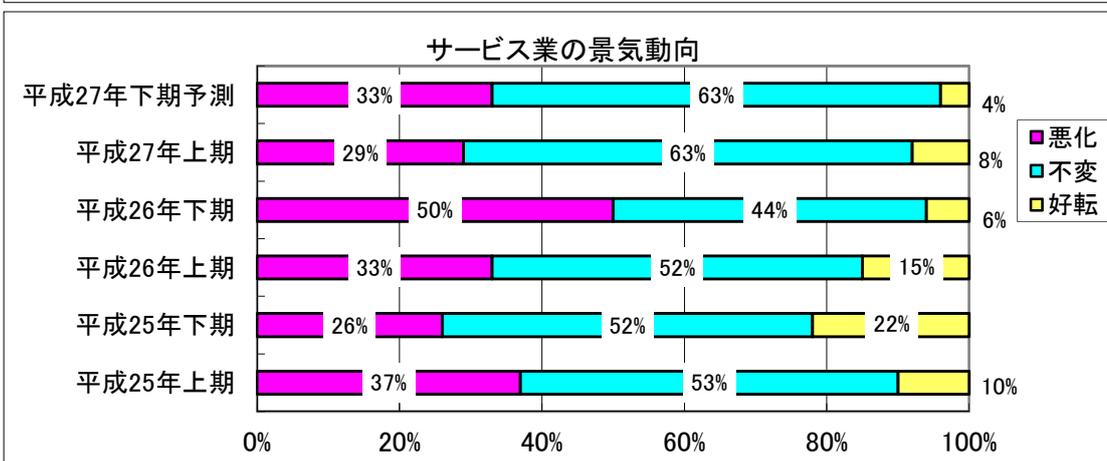
■建設業

平成27年上期では、「好転」が14%と前回より8%ダウンになり、不変との回答が15%アップした。平成27年下期の見通しは更に不変が増加し、好転が減少になっている。



■不動産業

平成27年上期は、「悪化」が前回より減少しているものの「好転」が0%と状況的には良くない。平成27年下期の見通しは「悪化」が40%と上期より若干悪化傾向になっている。

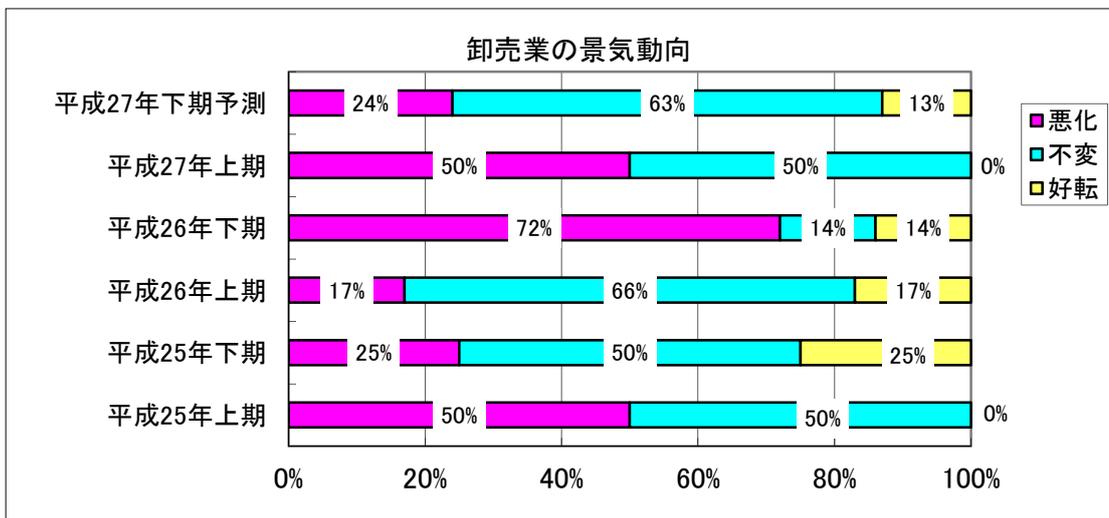


■サービス業

平成27年上期では前回よりも「好転」が若干増加しているものの「不変」が63%となっている。平成27年下期の予測は景気の「悪化」が若干増加する見通しである。

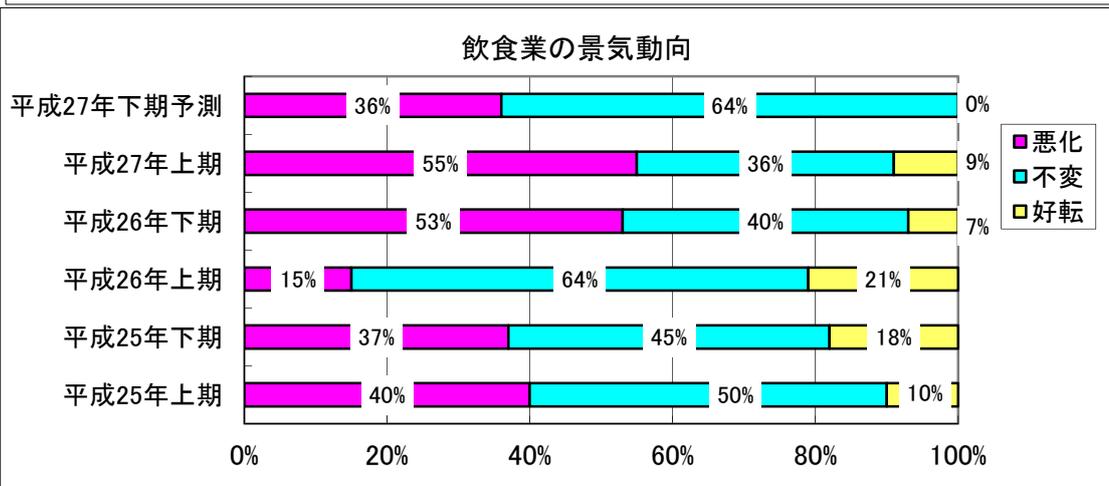
■卸売業

平成27年上期は「好転」との回答が無く、「悪化」と「不変」が同数であった。平成27年下期予測では、「好転」が13%との見通しがあり若干回復の予測であった。



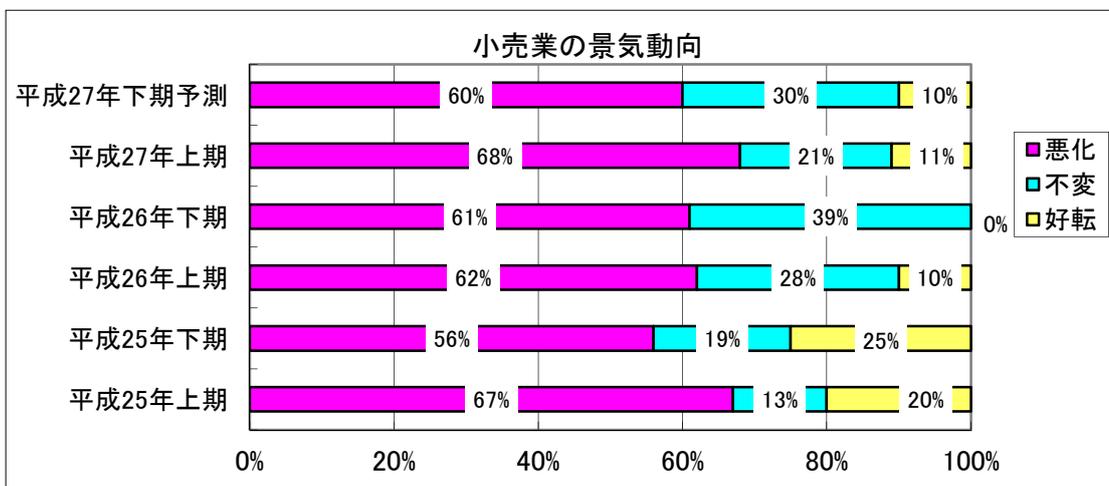
■飲食業

平成27年上期では「悪化」が55%と景気は悪化している。仕入値の高騰や消費税率のアップが影響している。平成27年下期も「好転」の見通しは無く、依然と厳しい状況となっている。



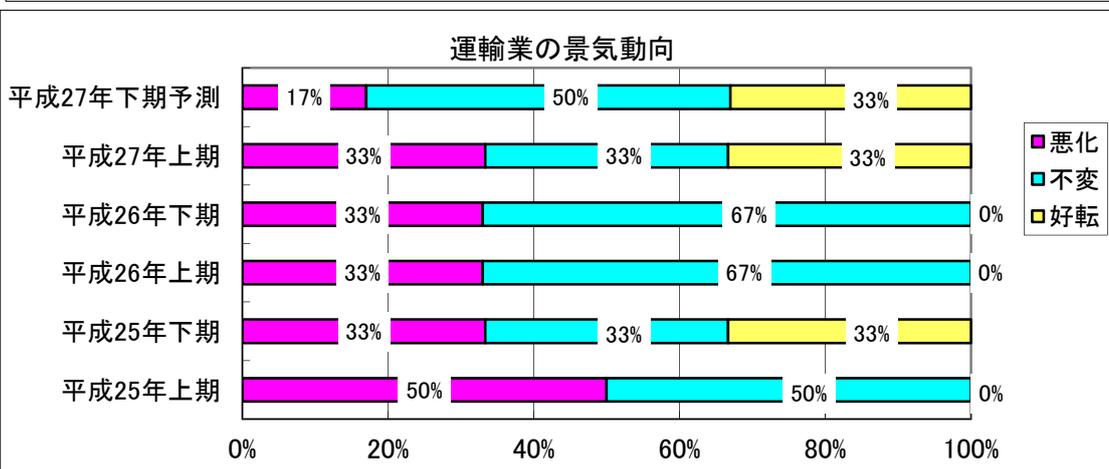
■小売業

平成27年上期は、「好転」が11%、「不変」が21%、「悪化」が68%と景気の後退が感じられる。平成27年下期の見通しも厳しいものとなっている。個人消費の低迷が響いている。



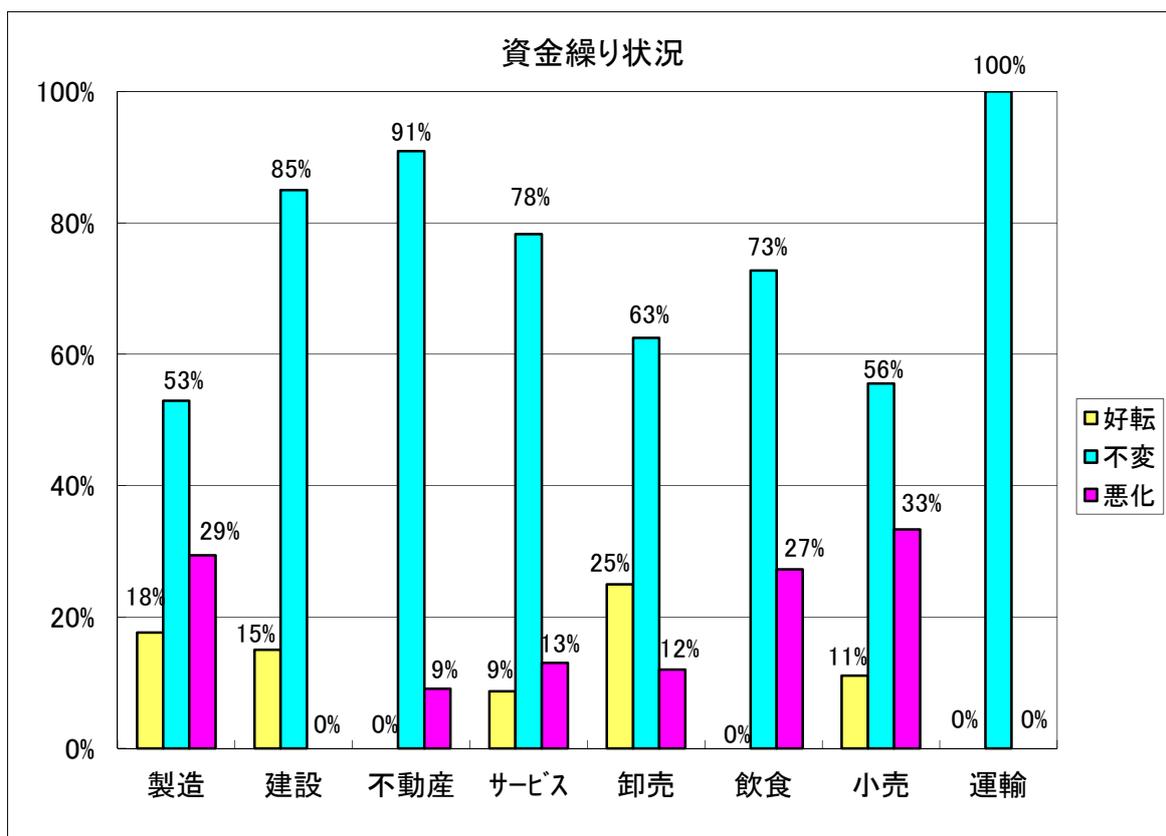
■運輸業

平成27年上期は、前回調査に比べ「好転」が33%と増加している。平成27年下期の見通しでは、「悪化」が17%へと減少し、景気の回復が若干感じられる。



⑥資金繰りについて

全体で見ると「不変」が75%（前回71%）、「悪化」が15%（前回19%）、「好転」が10%（前回10%）と回答している。前回調査で「悪化」との回答があった多かった運輸業（前回33%）は、今回はゼロで改善が感じられた。他方で飲食業、製造業がともに前回より「悪化」が多い。



⑦金融機関の融資状況について

全体的にみると「不変」が50%（前回46%）、「融資無し」が20%（前回29%）、「厳しい」が9%（前回5%）、「緩やか」が21%（前回20%）であった。

